

消費者・生産者・食品関連事業者・行政が一体となり、「食」の未来について考え、話し合い、行動するための取組です。今こそ、変えるべきは変え、守るべきは守り、新しい挑戦を応援しながら、時代にふさわしい「食」のあり方を一緒に考えてみませんか？

情報発信・フェア等を開催し、  
消費者に知識・体験を提供

国産農産物の理解醸成  
行動変容（フードシフト）



家庭備蓄

食料  
自給率



持続的な  
食料システム

地産  
地消

## 主な活動のご紹介



### 食と農をつなぐアワード

「食料システム」の理解促進と、持続可能な食料供給に向けた主体的な取組を促進するための表彰制度です。



### FOOD SHIFT セレクション

国産・環境配慮、家庭備蓄、栄養改善、インバウンド対応など、「社会にうれしい」食品を紹介・表彰。



### NIPPON FOOD SHIFT FES.

日本の食がかかえる課題や目指す未来について、ともに考えるきっかけとなるイベントを開催しています。



### ローリングストックのススメ

普段から使う食品を買い置きし、古いものから消費し、消費した分を買い足すことで備蓄する、「ローリングストック」を始めませんか？



### サステ鍋

国産・地元のサステナブルな食材で、鍋をもっと美味しく、もっと楽しく！私たちの食を取り巻く課題を解決するアイデアが詰まった「サステ鍋」を提案します。



### 朝ごはんから日本を考える。

ニッポンフードシフトは、朝ごはんをテーマに日本の食や農について考えるプロジェクトを始めます！



# 推進パートナー になりませんか？



## メリット

ロゴマークの無償利用



公式サイトや note での事例紹介



関連情報をタイムリーにお届け  
イベントへの出展や連携企画も！



## 条件

ニッポンフードシフトの運動趣旨に共感いただける方であれば、  
企業、団体、個人問わず、ご登録いただけます。

登録料、年会費等はありません。

## 登録



公式サイトよりご登録いただけます。

**NIPPON FOOD SHIFT 推進パートナー登録ページ**

<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/partner/>



最新情報は **NIPPON FOOD SHIFT**  
公式ウェブサイトをご確認ください

<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/>

**NIPPON  
FOOD  
SHIFT**



食から日本を考える。

**NIPPON  
FOOD  
SHIFT**

# 食と農 をつなぐ アワード

2025

農林水産大臣賞  
輸出・国際局長賞  
(九州地区)







農林水産大臣賞

部門  
04

スマート農業技術等の開発・普及

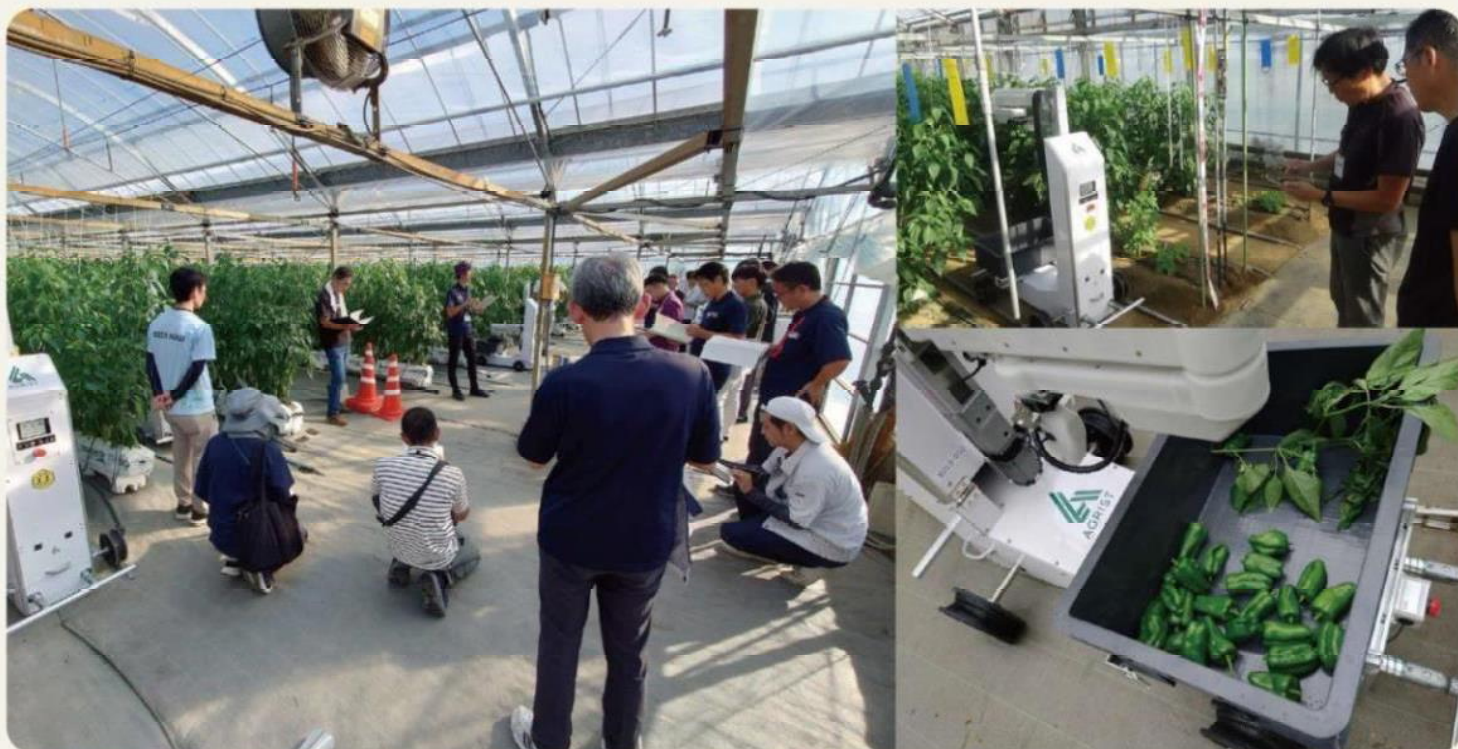
## AGRIST 株式会社

G7 から始まる官民連携農業プロジェクト創出事業

～自動収穫ロボットの産地導入に向けた官民農業者の連携～



2025年度受賞作品  
一覧はこちらから



地元生産者、宮崎県農政水産部と連携し、ピーマン収穫ロボットの導入実証を実施。生産者が直接運用することで現場の課題を洗いだし、かつ、ロボットが収穫しやすい方法も分析することにより、ディープテックと農業現場の知見を組み合わせた持続可能な農業モデルを構築。

### 概要

- 従来の農作業の効率化と持続可能性を向上させ、労働力の負担軽減と収量増加を目指して実証を開始。
- ピーマンの産地である宮崎県をモデルケースとして、県農政水産部や地元生産者と密接に連携。農業者が主体的にロボットを運用することで、現場に即した課題解決とノウハウの蓄積を図り、地域全体での持続可能な農業の実現を目指す。
- 宮崎県でのモデル事業が、群馬、岩手、北海道などへ移行し、全国へ展開している。

### 成果

- 開発者と農業者が連携するだけでなく、農業者自身がロボットを運用する体制を構築したことにより、現場の知見を直接フィードバックできるため、ロボットの性能向上と並行して、収穫しやすい栽培方法の特定が可能となった。
- 人手不足の解消や収量増加といった直接的な経済効果に加え、ロボットが収集するデータを活用した病害虫の早期発見・対応がAIを活用して提案。これにより、持続可能な農業が全国に展開され、農業従事者の負担軽減と地域活性化に大きく貢献。

### 審査委員からのコメント

ロボット農機の開発から技術実証・社会実装の新たなプロセスを提案・実施している点は面白い。メーカーと農業者の協業が基本であるが、自治体が能動的に関与することで円滑な協業体制が構築されていることは素晴らしい。農業ロボット開発の一つのモデルになると判断する。

### 基本情報

事業開始年度：2023 年

活動年数：3 年

活動地域：宮崎県宮崎市、新富町





## 輸出・国際局長賞



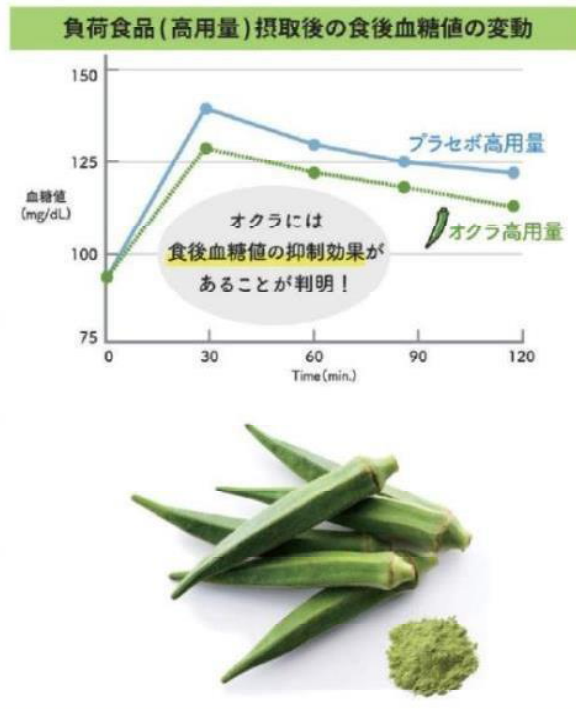
## 食料の安定供給

### 有限会社エール

鹿児島県指宿産オクラを活用した海外も含む市場への新素材提案



2025年度受賞作品  
一覧はこちらから



地元の規格外オクラを粉末・茶葉化し、添加物不使用で栄養や粘性を保持した製品を開発し、海外を含む新市場へ展開。

#### 概要

- 日本一のオクラ産地であるが、規格外品が大量に発生し、農家収入の不安定化や食品ロス拡大といった課題が生じていた。
- オクラとして初めての機能性表示食品を取得。血糖値抑制効果を科学的に証明し、粘性を活かした増粘剤代替やアレルギーフリー対応など独自用途を開拓。
- 機能性表示食品であることや台湾・香港への海外輸出実績を強みとし、地域資源から生まれた新素材として国内外に広くアピールしている。

#### 基本情報

事業開始年度：2014年

活動年数：11年

活動地域：鹿児島県指宿市を中心に活動

#### 成果

- 規格外オクラの高付加価値化により、農家の収入安定化と食品ロス削減を実現するとともに、機能性表示食品として機能性に着目した新たな需要を創出し、地域農業と関連産業の発展に寄与することで、環境・経済両面で持続可能性を高める。
- 農福連携も取り入れ、地域全体で価値を創出し、地域農業と産業の発展に寄与。

#### 審査委員からのコメント

規格外オクラという「負の資産」を、産学官連携と科学的エビデンスによって高付加価値な「健康・美容素材」へと転換させた、極めて完成度の高い事業。フードロス削減と地域経済活性化を両立させた傑作モデルである。